

新見市ニューパルツ姉妹都市派遣団報告記

山内 圭¹⁾*

1) 新見公立大学健康科学部地域福祉学科

(2019年11月20日受理)

新見市国際交流協会は、2019年9月、市民訪問団を姉妹都市のアメリカ合衆国ニューヨーク州ニューパルツ・ヴィレッジに派遣した。新見市からの市民訪問団の派遣は2008年9月以来のことであった。今回は、14名からなる訪問団のうち5名が本学の学生であり、1名が本学の教員(山内)であった。新見市国際交流協会でアメリカ班班長を務める山内が団長を務めた。9月10日に新見市を出発し、18日に新見に帰着する日程であった。ニューパルツには9月11日から15日まで滞在した。本記録は、この訪問団の派遣報告記である。

(キーワード) 国際姉妹都市交流、ニューヨーク州ニューパルツ・ヴィレッジ

1. はじめに

新見市は、アメリカ合衆国ニューヨーク州のニューパルツ・ヴィレッジと姉妹都市交流を行っている。これは、旧大佐町が1998年に同自治体と姉妹都市提携をしたものを合併により引き継いだものである。提携当初は、隔年で互いに市民訪問団を派遣し合い、芸術交流や中学生の相互派遣なども行われていたが、次第に隔年派遣も難しくなり、新見市からニューパルツへは2008年を最後に、ニューパルツから新見市へは2010年の合併後の姉妹都市再提携調印を最後に、市民訪問団の派遣が途絶えていた。2010年には新見市の中学生がニューパルツ・ミドルスクールに派遣されているが、2010年以降は、新見市からは新見公立大学のアメリカ研修団が2010, 2013, 2014, 2015, 2016年にニューパルツを訪問し、ニューパルツから新見市には、これまでに旧大佐町及び新見市を訪問した人を中心に個人的に訪問する形で、市民交流はかろうじて続いていた。

新見市は、カナダのプリティッシュコロンビア州シドニータウンと同様に姉妹都市提携を結び、中国の河南省信陽市瀕河区とは友好都市提携を行っている。シドニータウンとの訪問団派遣については、新見市からシドニータウンには2013年に市民と中学生からなる訪問団を派遣したのが最後であり、シドニータウンから新見市には、2015年に市民訪問団が派遣されたのが最後である。河南省信陽市瀕河区との訪問団派遣は新見市からの訪問は2012年を最後に途絶えていたが、2018年に久しぶりに行われ、信陽市瀕河区からの訪問は、2014年の書道家2名の新見訪問を最後としている。

新見市国際交流協会が新体制となり、姉妹都市・友好都市との相互派遣を再び活性化する方針が示されると、2018

年の信陽市瀕河区への市民訪問団の派遣が実現した。2018年には当初ニューパルツへの市民訪問団の派遣が検討されていたが、西日本豪雨の影響もあり延期された。今回のニューパルツ訪問団は、昨年度実施できなかったため、旅行計画から再度検討し実施したものである。

2. 準備

昨年度延期したニューパルツへの市民訪問団派遣を新見市国際交流協会アメリカ班会議で検討し、3月に旅行会社4社に見積もりを依頼し、4月のアメリカ班会議にてリョービツアーズ岡山支店による実施を内定した。5月の交流協会総務委員会及び理事会にても同意を得て、5月28日の総会で派遣が認められた。その後、『市報にいま』および報道機関で市民派遣団員募集を行い、最終的に以下14名の派遣が決定した。

2019年度新見市ニューパルツ市民派遣団員 (敬称略)

団長: 山内 圭 (アメリカ班班長)

副団長: 砂田彰洋 (国際交流協会副会長)

団員: 石橋篤枝 (アメリカ班副班長)

団員: 赤木千都子

団員: 今永恵子

団員: 大谷厚子

団員: 影山祐子

団員: 下西二郎

団員: 砂田清子

団員: 近藤みのり (看護学科2年生)

団員: 藤井怜奈 (看護学科2年生)

団員: 宮里夏芽 (看護学科2年生)

*連絡先: 山内 圭 新見公立大学健康科学部地域福祉学科 718-8585 新見市西方1263-2

団員：田中陽子（看護学科1年生）

団員：長谷川萌楓（看護学科1年生）

事前説明会は、7月3日、7月16日、および8月27日の3回にわたって実施した。そのうち第2回の7月16日に団長及び副団長を決定した。

ニューパルツでは、ホームステイを行うが、ホストファミリーおよび滞在中の活動については、ニューパルツ国際交流協会に一任した。訪問先等については、団員に教育関係者および学生が多い旨を伝え、学校関係の訪問先を検討してもらった。また、3回の説明会において、旅行日程及び旅先で注意することなどの説明を行った。



(写真1) 第3回説明会

9月3日、池田新見市長に対し出発報告を行った。その際、ニューパルツ市長^{注1)}及びニューパルツ国際交流協会長に対する親書と贈り物^{注2)}を預かった。また、この際、報道機関各社^{注3)}より取材を受け、随時報道された。

また、9月6日には城井田教育長と面会し、ニューパルツとの中学生高校生派遣の再開について準備をするよう依頼を受けた。そして、新見ロータリークラブからも交流のあるニューパルツ・ロータリークラブへの親書を預かった。

3. 旅程

1) 第1日目9月10日

朝4時30分新見市役所で7名、4時40分新見公立大学下交差点付近で7名がバスに乗り、新見市を出発した。岡山ももたろう空港に6時ごろ到着し、7時10分発のJL232便で羽田に向かい、羽田から10時40分発のJL006便にてニューヨークに向かった。ニューヨークのJ.F.ケネディ空港に10時35分に到着し、13時過ぎ頃ホテルにチェックインした。その後、ファストフード店で遅い昼食を摂り、休憩後、ダイナーにおいて夕食を摂った。



(写真2) JF,ケネディ空港到着

2) 第2日目9月11日

朝食をホテルで摂り、マンハッタン内を散策した。15時30分発のバスにてニューパルツに向かい、17時5分頃ニューパルツに到着した。バスステーションでは、ニューパルツ国際交流協会の会員たちによる出迎えを受けた。その後、ニューパルツ市長、ニューパルツ地区の教育長、ニューパルツ高校校長、ニューヨーク州立大学ニューパルツ校教員およびホストファミリーを含むニューパルツ国際交流協会メンバーも多数参加の歓迎会を開いていただいた。会では、訪問団員が全員自己紹介を兼ねた挨拶を行い、ニューパルツ国際交流協会から歓迎の品を受け取った。また、持参した新見市長および新見市国際交流協会の米澤会長の親書を読み上げ、ニューパルツ市長及びニューパルツ国際交流協会長に贈り物とともに渡した。新見市長の親書では、2018年7月豪雨の被災者に対してニューパルツ国際交流協会から贈られた寄付金に対するお礼も述べられた。歓迎会后、それぞれのホストファミリー宅でホームステイが始まった。



(写真3) 歓迎会

3) 第3日目9月12日

午前中はニューヨーク州立大学ニューパルツ校を訪問した。国際交流局長シルナー氏の歓迎のあいさつをいただき、日本からの留学生と日本に留学経験のある学生たちによりキャンパス内を案内してもらった。

この日の昼食は、9名の大人の団員はニューパルツ・ロータリークラブの例会に招かれ参加した。例会においては私たちが姉妹都市新見市からの訪問団であることが紹介され、新見ロータリークラブからの親書を披露し、新見市国際交流協会からの贈り物を贈呈した。また、5人の学生たちについては、ニューパルツ国際交流協会から昼食に招かれた。



(写真4) ロータリークラブ例会参加

午後は、ニューパルツ地区のリゾート地モホンク山に招かれた。モホンク山は、ニューパルツの象徴的な山であり、頂上にある展望台までハイキングで歩いた。

4) 第4日目9月13日

ニューパルツはハドソン河沿いにある町で、この日の午前中はハドソン河を渡る遊歩道を散策した。ハドソン河を渡り対岸の町まで行き、帰ってくる数キロを団員全員が踏



(写真5) ニューパルツ高校訪問

破した。

昼食をピザ屋でいただいた後、午後はニューパルツ高校を訪問した。校長とニューパルツ国際交流協会会員でもあるシャバーン先生により校内を案内していただいた。

ニューパルツにあるエルティング・メモリアル図書館では私たちの訪問に合わせ、これまでの旧大佐町及び新見市との姉妹都市交流についての展示を行っていたので訪問した。そこで、これまでの交流の資料整理の手伝いも行った。



(写真6) 図書館の姉妹都市交流展示の前で

5) 第5日目9月14日

午前中はニューパルツの北にある町キングストンの水運博物館を見学した。キングストンはハドソン河の水運の要所であり、規模は違いますが高瀬舟が行き来していた新見と共通している。港近くのレストランにて昼食をいただき、午後はハドソン河クルーズを行った。ニューパルツやキングストンを含むハドソン河沿い地域は、ハドソン河の水運とともに発展したという歴史について、また雄大なハドソン河沿いに広がる大自然について多くを学ぶことができた。



(写真7) 送別会

また夕方は私たちのために開催された送別会に出席し、団員全員が感謝の意を述べ、ニューパルツ国際交流協会会員でもあるシンガーソングライターのラッセルさんと同じく音楽活動もするスタンさんによるギターと歌で、唱歌「さくら、さくら」を歌った。

6) 第6日目9月15日

10時15分のバスでニューパルツを出発した。多くの方々が見送りに来ていただいた。

ニューヨークに到着後は、自由に昼食及び散策を行い、夕方は全員でミュージカル「ライオンキング」を鑑賞した。

7) 第7日目9月16日



(写真8) 見送り

多くの団員が6時間のバスツアーに参加しマンハッタンを見学した。自分たちで散策した団員もいた。ジャズハウス「ブルーノート」でジャズを楽しんだり、お祭りを開催していたリトルイタリー地区に出かけたり、エンパイアステートビルの展望台からニューヨークの夜景を楽しんだり有意義な時を送った。



(写真9) 岡山ももたろう空港到着

8) 第8-9日目9月17-18日

9月17日10時過ぎにホテルを出発しJ.F.ケネディ空港に向かいJL005便にて羽田に向けて出発した。日付変更線を越え、翌9月18日16時25分に羽田空港に到着した。国内線に乗り換え、19時50分発のJL241便にて21時5分に岡山ももたろう空港に到着した。バスで新見に戻り、新見に着いたのは23時過ぎであった。

4. まとめ

今回の姉妹都市ニューパルツへの市民訪問団派遣は2008年以来のことであった。団員各自がどのようなことを感じ、どのようなことを学んだのかは、今後、新見市国際交流協会の報告会で発表したり、文集をまとめ披露したりする予定である。筆者が目にした限りにおいても、一般市民および参加学生たちは、とても有意義な交流を行っており、それぞれの人生においても記念すべき出来事となることは間違いのないことであり、それぞれの周りの人たちに対してもニューパルツの人々との交流のすばらしさについて広めていくことは間違いのないことだと思われる。国際姉妹都市交流において、実際の訪問が本当に大きな意義を持つことを久しぶりに目の当たりにした。今後、この姉妹都市交流を含む国際交流関係事業について、さらに尽力してゆきたいという気持ちを新たにすることを確認し、本報告を終えたい。

註

注1) ニューパルツ・ヴィレッジは「ヴィレッジ」(村)であるので、Mayor of New Paltz Villageを「ニューパルツ村長」と訳すこともできるが、ここでは便宜上「市長」と訳している。

注2) 新見市のマスコットキャラクター「にいみん」のぬいぐるみとキーホルダー。なお、新見市国際交流協会からの贈り物は扇子である。

注3) にいみアイチャンネル、山陽新聞、備北新聞、備北民報の各社

参考文献

- 1) 山内 圭他12名：姉妹都市ニューパルツヴィレッジ第2回訪問団報告書, 1999
- 2) 山内 圭他9名：姉妹都市ニューパルツヴィレッジ第3回訪問団活動報告書, 2001
- 3) 山内 圭：ニューパルツでの人々との出会い, *Forum* vol.XX: 5-16, 2002
- 4) 山内 圭：新見公立短期大学アメリカ研修報告, 新見公立短期大学海外支援事業 2005年アメリカ研修「帰国

- 報告書」, 新見ライオンズクラブ国際委員会: 10-13, 2005
- 5) 山内 圭: 「国際姉妹都市における芸術文化交流—新見市とニューパルツ・ヴィレッジの交流を中心に—」『現代の東西文化交流の行方Ⅱ』, pp.255-271, 大阪教育図書, 大阪, 2009
- 6) 山内 圭, 桑原一良, 塚本千恵子, 矢藤誠慈郎: ニューパルツ学術訪問団報告記, 新見公立短期大学紀要 第23巻: 169-184, 2002
- 7) 山内 圭: 日米姉妹都市交流研究事始—大佐町とニューパルツ・ヴィレッジの姉妹都市交流を足掛かりに—, 新見公立短期大学紀要 第24巻: 139-146, 2003
- 8) 山内 圭: 日米姉妹都市交流が交流に関わるアメリカ市民に与える肯定的影響について—旧大佐町とニューパルツ・ヴィレッジとの姉妹都市交流の場合—, 新見公立短期大学紀要 第27巻: 169-177, 2006

A Report of Niimi Citizens' Sister City Delegation to New Paltz Village

Kiyoshi YAMAUCHI

Faculty of Human Health Sciences, Niimi University, 1263-2 Nishigata, Niimi, Okayama 718-8585, Japan

Summary

This is a report article about Niimi International Exchange Association's Sister City Delegation to New Paltz Village in 2019. The delegation visited New Paltz Village from September 11 to 15, 2019, and participated in various gatherings, visited several places and met many local people. This kind of citizens' delegation was sent for the first time for more than a decade, and it was a good occasion to realize the importance of actual visits between two municipalities in the relationship and exchanges of international sister cities.

Keywords: sister city exchanges, New Paltz Village, NY